

チャレンジ項目記入数 16

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		・経営者は経営理念を説明し、会社のあるべき姿を従業員に指導している。 ・会社のあるべき姿の実現に向け、困難を克服し、新しい技術・事業に挑戦するような組織風土が形成されている。								8	9								17		
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・職場の掲示板や回覧で法令遵守の重要性を周知している。																	16		
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・取引業者との契約締結に際して、合理的な契約関係を築き、全社員に向け、その重要性をミーティングなどで周知している。										10							16		
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・自らの事業活動が、社会・環境に及ぼす影響(可能性)を把握し、担当者を任命している。																	16		
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・住宅の建設、設計などは知的財産として重要なため、取扱いに慎重であるよう日頃から周知している。								8.2 8.3	9									16	
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・顧客情報等の漏洩がないよう周知徹底し、セキュリティの高いクラウドシステムを運用している。																	16		
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・OBのお客さまに対して定期的なアンケートやお客さまの声をいただき、顧客の声を大事にし、双方のコミュニケーションに取り組んでいる。また、そのアンケート結果やお客さまの声をHPにて公表している。																16	17		
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●		・SDGsに取り組んでいる新たな外部業者との取引を開始し、協力業者の集まりで情報の周知・共有を図り、弊社もSDGsに取り組んでいくことを表明し問題解決に取り組んでいる。					5			8		10		12	13	14	15	16	17		
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●										9		11		13.1						16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●										8	9										17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●			1	2			5			8				12	13	14	15	16	17		
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別・年齢・障がい・国籍・出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・雇用、教育、昇進・登用、福利厚生など、あらゆる雇用条件及び職場環境において、差別しない体制・運営を徹底している。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							16.1 16.2 16.7		
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・工事前には必ず安全確認の徹底を呼びかけている。 ・関連業者へは定期的に情報誌を発行し、現場の安全確認の周知を徹底している。			3					8.8											
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・従業員の公正な待遇を行っている					5.5			8.5		10.2 10.3									
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・残業時間の管理徹底や、業務効率化による労働時間の短縮などの働き方改革への取組み、有給休暇などの取得奨励を実施し、家事や育児、ボランティア活動への積極的参画などの環境を整えている。			3		5.5			8.5 8.8		10.3									
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・研修体制の整備、業務時間内の学習時間の確保や必要経費の支給により、外部研修の受講や各種資格の取得を奨励している。				4	5.5			8	9										
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・交通事故等への注意喚起を行っている。 ・健康診断の経費補助を行っている。			3					8									17		
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・業務運営や昇進・昇格等に、性別などの違いによる差別的待遇はない。 ・現在女性社員の比率75%。50%以上の維持を目標としている。				4.4	5.1 5.5			8.5 10.2 10.3									16.7		
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		・感染症対策として、取引先やお客さまとの打合せにウェブ会議などを導入している。 ・仕事内容によっては、テレワークの活用も推奨している。			3					8 9.1		11 12									
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		・広報活動ではAIを取り入れ、業務の効率化を図っている。 ・公式LINEを運用し、顧客への情報提供、現場との円滑な情報共有、指示等、DX化に取り組んでいる。								8 9.1		11 12									
	21	【プライム企業】 ・プライム企業に認定されている。	●					3	4				8 9			12								

チャレンジ項目記入数 16

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・会社から出る産業廃棄物は、マニフェスト制度に図り、適正管理・処理を行っている。分別の徹底を行っている。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1				
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・事務所社屋に太陽光パネルを設置しエネルギーを有効活用。 ・オフィスの節電に取り組んでいる。 ・簡易計算シートを利用し、エネルギーの使用量の把握を行っている。							7.3						13						
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・事務所社屋に太陽光パネルを設置し、CO2排出量削減に取り組んでいる。 ・簡易計算シートを利用し、CO2の排出量の把握している。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15				
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・地元の木材を使用することにより、森林の活性化につながり、森や山の生物の生息・生息地の創出に取り組んでいる。 ・事務所近隣の耕作放棄地を活用し、新事業として農業を展開。放棄され荒んだ土地を活用することにより、病害虫や鳥獣被害の発生の抑制に繋がる。					6.6								14	15					
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・新聞紙をリサイクルした木質繊維系多機能セルロースファイバー断熱材であるデコスファイバーの利用を推進している。 ・使い捨てだった床養生シートをレンタルサービスを利用し、繰り返し使っている。 ・ペーパーレス化、裏紙の利用を促進している。								9.4				12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・「節水」や「汚水等の適切な処理」等を実施している。 ・事務所内で節水型便器や水栓を取り入れている。		2.4					6.1 6.3 6.4 6.6 6.b				11.5			14.1 14.2 14.3	15		17		
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・再生用紙の利用を推進している。									9.4			12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 ・食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		・3010運動に取り組んでいる。	1	2				6.4							12.3		14	15		17	
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		・事務所や畑が山の中にあるため、伐採しないようにしたり、事務所前に植栽をして取り組んでいる。											11.6 11.7		13.1 13.3		15		17		
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。	●		・事務所社屋に太陽光パネルを設置しエネルギーを有効活用している。 ・顧客にも積極的に太陽光パネルの利用を推奨している。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3						
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●		・熊本県産材の利用を積極的に推進している。						6			9.4			11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●									6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●		・使い捨てだった床養生シートをレンタルサービスを利用し、繰り返し使っている。 ・プラスチックの使用削減や環境にやさしい素材(無垢の木材、新聞紙をリサイクルした断熱材など)の使用に取り組んでいる。												12.2 12.5		14					
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●											9.4		11.2		13.1 13.3						
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2	

チャレンジ項目記入数 16

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・「お家のトリセツ」を作成し、引渡し時に顧客へ説明し双方の記名押印したものをお渡ししている。 ・提供するサービスの質を確保するため、アフターフォロー、アンケートを定期的に実施し顧客の意見を聞き、スタッフ内、関係者で共有している。			3.9						9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・高齢者の顧客には手すりの設置、段差解消などを積極的に提案し工事をしている。 ・若年層の顧客にも将来のことを考慮し、説明・提案を行っている。								9.1	10	11.7						17	
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。	●		・熊本県産材の利用を積極的に推進している。	2.3 2.4						7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。	●		・事務所の外壁、打合せ室の内壁に県産材を使用し、木質化を推進するとともに、県産材の利用を推進している。						7					12.2	13.1		15			
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。	●		・日本で最もCO2排出量の一番少ない断熱材「デコスファイバー」の利用を推進している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に取り組んでいる。	●			2.3 2.4							8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・事務所隣の元社長自宅(太陽光パネル+蓄電池完備)に災害備蓄庫を設け、万が一の災害の際には地域の避難所として開放している。 既に地域住民には周知し、地域住民と共に避難訓練も実施している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・事務所において防災グッズを常備している。また、社員にハザードマップの確認や、避難経路及び場所、連絡方法を周知している。				4							11.5		13.1			16	
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。	●		・事務所隣の元社長自宅(太陽光パネル+蓄電池完備)に災害備蓄庫を設け、万が一の災害の際には地域の避難所として開放している。既に地域住民には周知し、地域住民と共に避難訓練も実施している。	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。	●		・新築住宅建設時の大規模地震に耐え得る耐震等級3の取得率100%を維持している。									9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。	●		・FAXではなくメール利用の推進、再生紙、裏外の利用、廃プラスチックのリサイクル等SDGsについて得た情報を社内全体に周知、実践している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受け入れ】 ・職場体験、インターンシップの受け入れ、職場連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。	●						4					8.6		10.2						17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。	●		・地元の若者を積極的に採用している。				4.4					8.5 8.6								17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。	●		・新事業として農業を展開。近隣の耕作放棄地を活用し、果樹・野菜の栽培をスタート。地域の方や顧客に農業を身近に感じてもらうために、植樹体験(3/23実施済)、収穫体験(8月実施予定)を開催し参加していただいている。	2		4.3 4.4 4.5						8.6		10.2		12	13	14	15	17

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。